

2/26

## 学校給食に常陸牛が登場

地産地消や食育への理解を深めるために、「県産和牛等学校給食提供緊急対策事業」を活用し、境町産「常陸牛」の焼肉を給食で提供しました。



このお肉は、境町唯一の「常陸牛」生産者「株式会社シバサキ」（柴崎哲夫代表）から提供いただいたもので、ブランド牛として厳しい条件をクリアしたお肉は、甘みや旨味が強く、柔らかい肉質が特徴です。この日、町内



小中学校7校の児童生徒が「常陸牛」の焼肉を堪能しました。

常陸牛を堪能する児童の皆さん。美味しさに笑顔がこぼれました

2/26

## ウヤマ産業株式会社 関東ロジスティクスセンターが完成

境古河IC周辺地区の企業誘致第1号となる、ウヤマ産業株式会社の関東ロジスティクスセンターが完成し、2月26日（金）竣工式が行われました。

境町では、新たな雇用の創出と税収の増加を目指し、圏央道境古河インターチェンジ周辺の開発と企業誘致を積極的に推進してきました。

2024年には圏央道の4車線化が予定され、境古河IC周辺地区はますます企業のニーズが高まっています。引き続き優良企業を誘致し、町の活性化を図っていきます。



新たな雇用の創出が期待されます

2/28

## 宝くじ助成を活用、塚崎行政区で伝統文化の継承のため獅子頭を新調

塚崎の獅子舞は、350年以上前から、この地で伝承されており、昭和35年には、県の無形民俗文化財の指定を受けております。次の世代にこの伝統と誇りを受け継ぐべく、子ども達に、日々の練習や祭事の披露等に活用していただきます。

※宝くじ助成事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施されている事業です。



区長談

獅子舞「男獅子、中獅子、女獅子」の三頭を新調していただき、感謝とお礼を申し上げます。この獅子頭を利用して、地域の子供達に舞を指導するとともに、地元施設への慰問等も計画して、地域のコミュニティの向上と塚崎獅子舞の伝統継承につなげてまいります。



2/2

## 田舎暮らしの本（宝島社）取材

2月2日（火）、境町の子育て支援の取組について、橋本町長が宝島社「田舎暮らしの本」の取材を受けました。このインタビューの内容が「田舎暮らしの本」2021年4月号に、子育て支援特集「自治体の子育て支援がスゴイ！」に3ページにわたり掲載されました。

また、「田舎暮らしの本」2020年度版住みたい田舎ベストランキングで、境町は、北関東エリアで5位を獲得しています。



インタビューを受ける橋本町長

2/5

## オンライン区長会役員会開催

2月5日（金）、境町初の「オンライン区長会役員会議」が行われました。

例年、境町役場で開催されていた区長会役員会議ですが、今年はコロナ禍により、開催が難しいことから、web会議システム「Zoom」にて実施いたしました。

会議では、町長による町政報告等がオンラインで行われ、各行政区の区長さんへはご自宅からタブレット等で会議に参加していただきました。



初の試みとなった、オンライン区長会役員会議

12/23

## ミス・ナデシコ茨城県代表の半村江里佳さんが表敬訪問

12月23日（水）にミス・ナデシコ茨城県代表に選ばれた半村江里佳さんが、役場を表敬訪問されました。

着物姿で役場を訪れた半村さんは12月27日（日）に京都で行われる全国大会に向けて「コンテストで茨城の魅力を発信したい」と抱負を述べました。



ミス・ナデシコ茨城県代表の半村江里佳さん

1/13

## 境町の自動運転バスがニュースで紹介されました



令和2年11月より運行を開始した、自治体では全国初の公道を常時運行する自動運転バスの取り組みについて、テレビ朝日「スーパーチャンネル」が取材に訪れました。



番組は1月18日に放送され、町中を走る自動運転バスの様子や、橋本町長のインタビューなどが全国放送されました。

インタビューを受ける橋本町長

1/26

## ハワイ州ノエラニ小学校と境小学校がオンラインで交流

境町とハワイ州ホノルル市は平成30年9月に友好都市協定を締結しました。令和元年12月には境町の中学校とホノルル市のアリアマヌ中学校が姉妹校協定を締結し、友好関係を築いています。

この交流の輪を小学校にも広げたいと、ホノルル市ノエラニ小学校との交流を開始しました。友好の証として、ノエラニ小学校から境町へ贈呈品が贈られました。



サイカタチを紹介したり、けん玉を披露して親交を深めました

12/11・17

## 境町の中学校×ハワイ州アリアマヌ中学校オンライン交流会実施

境一中・境二中と姉妹校協定を結んでいる、ハワイ州ホノルル市のアリアマヌ中学校との間でオンラインの交流会が行われました。12月11日（金）に境一中生徒会の2年生4人、12月17日（木）に境二中の2年生代表6人が、web会議システム「Webex」を使って、アリアマヌ中学校の生徒5人や先生と、英語で相互にコミュニケーションをとりました。

境の中学生たちは、新型コロナウイルス禍の中でどう過ごしているかなど、お互いの学校や生活の状況を紹介しあい、英語力を磨きました。町では今後も、日米中学校同士のオンライン交流を継続するほか、新型コロナウイルス感染症が収束すれば、交換交流など、子どもたちが生きた英語に触れる機会を増やしていく予定です。



オンライン交流会の様子

12/17

## 明治大学大学院で橋本町長がオンライン講演

12月17日（木）に、明治大学大学院ガバナンス研究科に招かれ、橋本正裕町長が境町の取り組みについて講演を行いました。講演は新型コロナ感染症の影響により、web会議システム「Zoom」によるオンラインで行われました。講演後は、明治大学大学院で公共政策を学ぶ学生の皆さんから沢山の質問が寄せられ、境町の様々な施策が大変注目を集めました。

境町で取り組んでいる施策について講演をする橋本町長

12/19・20

## さかい活力応援給付金支給

新型コロナウイルスの感染拡大の影響や、年末ということもあり、少しでも境町の皆さんに寄り添うため緊急措置として、全ての町民に現金1万円を給付する「さかい活力応援給付金」を実施しました。

19日（土）・20日（日）に、町内にある投票所となっている施設15箇所を利用して給付。実施にあたっては感染対策を十分に施し、行いました。また、両日都合のつかない方を対象に、令和3年1月29日（金）までの間、役場にて給付を行いました。

ソーシャルディスタンスに配慮して配布を行いました